

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 東京都武蔵野市環境部下水道課	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 武蔵野市環境部下水道課 宮木 新 TEL 0422-60-1867 Mail SEC-GESUIDOU@city.musashino.lg.jp
代表者氏名 武蔵野市環境部下水道課長 田原 美樹	
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】

部門名 広報部門①行政広報部門	事例名 武蔵野市水環境連続講座「水の学校」
--------------------	--------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等挿入して下さい）

「水の学校」～楽しみながら考えを深め、行動へつなげる連続講座

“水のつながり”を学ぶ！

自分の飲んでいる水はどこから来てどこへ行くのか、どうしてここに水が流れているのかなど、身のまわりの水や普段見ることのない水、歴史や地形とのかかわりまでを講座のテーマとしました。また、全7回を連続講座とすることで、各テーマを個別に見るのではなく、人のくらしと水のつながり学ぶことができる講座としました。

“すわって聞く”だけじゃない、“体験するだけ”でもない！

「水の学校」では、水源の森の訪問や施設見学などのフィールドワークから学ぶことと、感想や意見を共有するワークショップのどちらも講座の中に取り入れています。そうすることで、目や肌で感じたことをそれだけで終わらせず、それが自分にどう関係しているのか、自分には何ができるのかを考えていただくことができました。



“楽しかった”だけで終わらない仕組みづくり！

受講生の中から今後自発的な市民活動が育っていくことを目指し、受講生が次年度以降サポーターとして講座の企画・運営に携われる仕組みとなっています。平成26年度は講座で学んだことと受講生が感じたことをまとめた水環境啓発パンフレットを、受講生の有志参加者と編集会議を行い作成しました。（※付属資料『Oh!水』）

平成26年度修了生からはサポーターとして携わりたいという声を多数いただき、平成27年度から実際に参加していただく予定となっています。



エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

- ・市内の駅や書店などの事業所、大学等の教育機関にも協力をいただいて参加者の募集を行ったため、10代から80代までの幅広い年齢の方に講座に参加していただくことができた。
- ・無作為抽出による市内の1,000人の方に直接案内を送付することで、普段市報や掲示板等を見ることがない方にも情報を届け、講座への参加を促すことができた。
- ・フェイスブックの専用ページや各回ごとにニュースレターを作成することで、講座の内容や学んだことについて、講座に参加していない方にも知っていただけるよう情報発信を行った。

付属資料の提出 あり なし （どちらかに○）